

**解答**

一

問  
一  
2

問二

1	×
2	×
3	○
4	○
5	×
6	○

問三 反骨の精神。

問四

問五

問六

問七

問八

問九

問十

問十一 鉄橋にぶらさがろうと覚悟を決める気持。

問十二  
2

問十三　その時だった。鉄橋の下からふきあがる風に乗って聞き慣れた声が吾一の耳に届いた。「吾一、吾一」母が自分

を呼んでいる。吾一は立ち上がり皆の方に振り返ると、まくら木を一步一步歩き始めた。作次に弱虫と笑ひ者にされるだろう、京造はそらみたことかと口も聞いてくれないだろう。でも、吾一はそんなこと、もうどうでもよかった。母を悲しませない。そんな強い思いで吾一は胸を張った。

11

問一  
ア  
2  
イ  
1

問二 電線をよけて遺跡を撮るべきだという考え。

### 問三 自分のイメージ

問四 自分のイメージに合わない現実を無視したり切り捨てたりしながら、自分の持っているイメージに合わせて目の

前の対象を見ようとする見方。

問五 現実の対象に触れた時に自分のイメージを省み、そこから新たなイメージを生み出していく、自分の抱くイメージとの戦いの過程。

ア三

2  
イ  
4  
ウ  
1  
エ  
3

四

1	仮想	2	訓練	3	測候所
7	かおく	8	からまわ〔り〕	9	ゆだ〔ねる〕
		10	はぐく〔む〕	5	益
				6	祝賀

8 からまわ〔り〕

9 ゆだ〔ねる〕

10 はぐく〔む〕